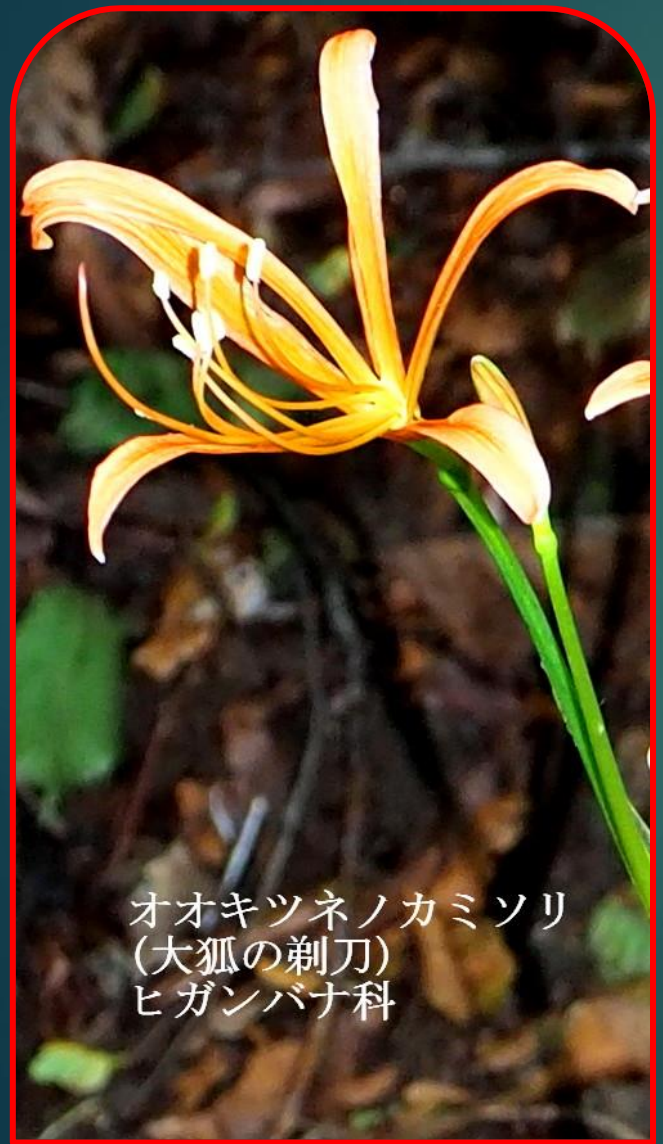
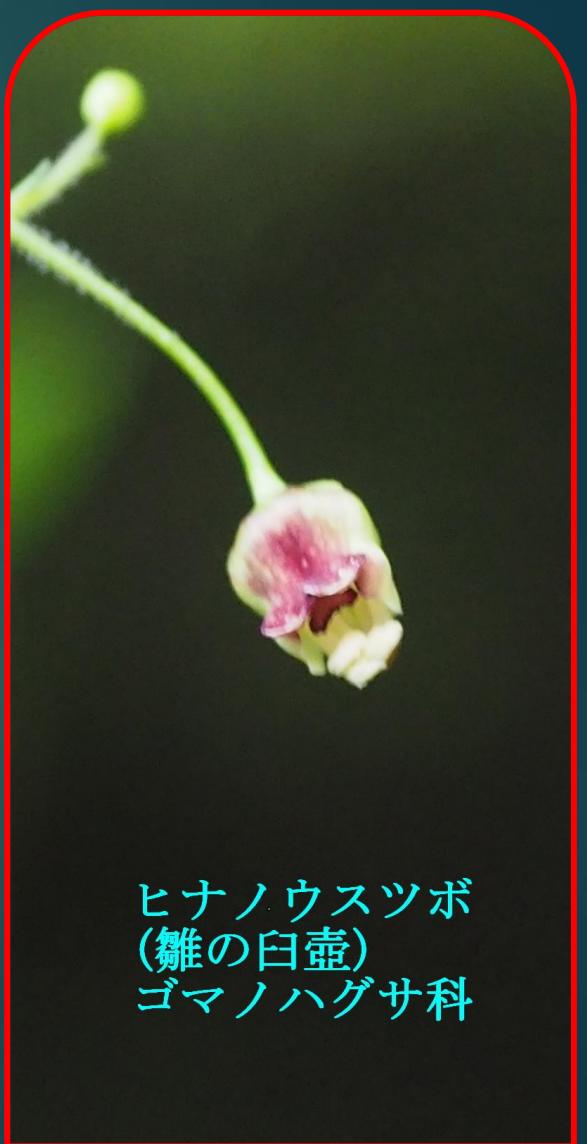
2023.07.17　福岡37会　佐賀県唐津市・八幡岳(はちまんだけ)764Mの

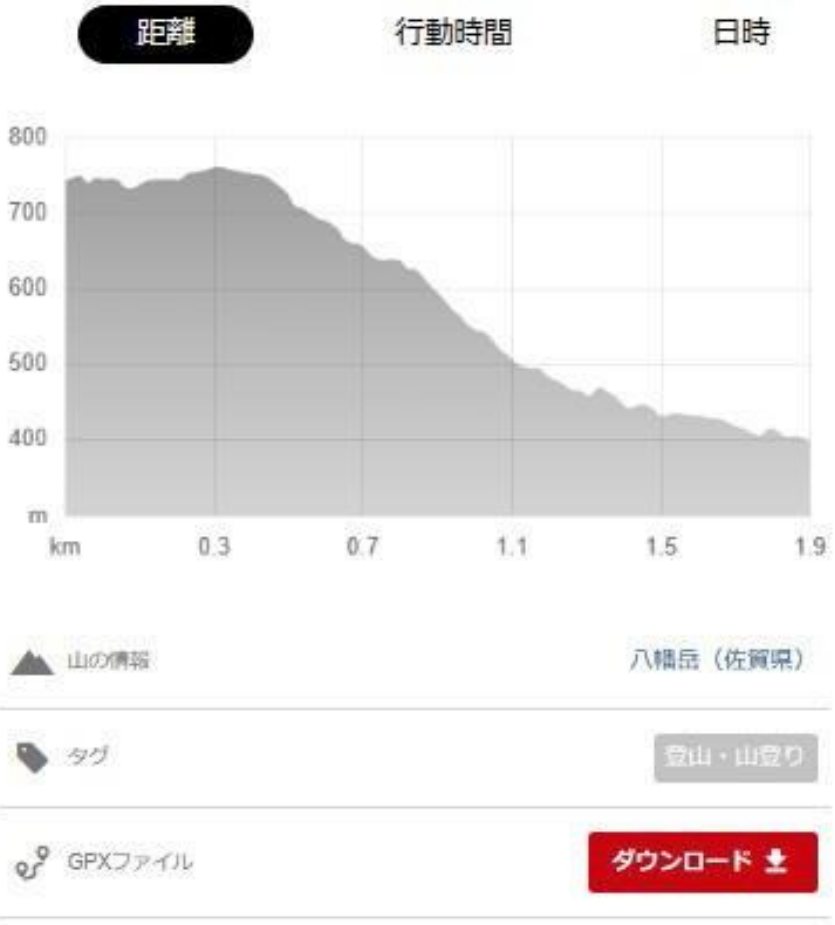
オオキツネノカミソリ、ウバユリ、コオニユリ、ヒナノウスツボ





活動データ

タイム	距離	のぼり	くだり
02:12	2.0km	61m	402m



のぼり61m、
くだり702m
くだり中心の登山

蕨野の棚田(わらびののたなだ)近傍の花々

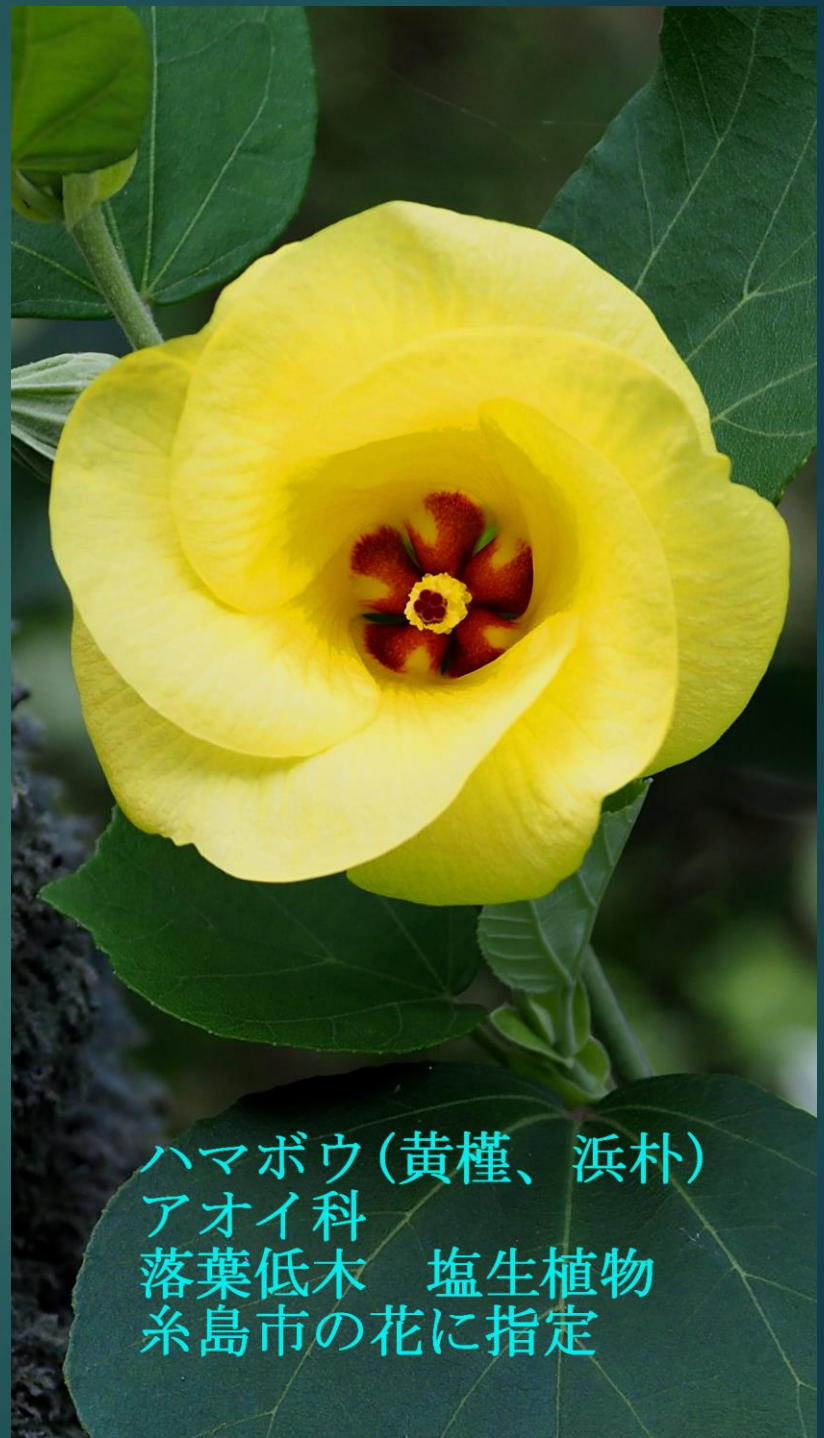
ツユクサ(露草)
ツユクサ科

ツユクサ(露草)
ツユクサ科

コマツヨイグサ(小待宵草)
アカバナ科

トベラ（扉、海桐花）
トベラ科　常緑低木

ハマボウ（黄槿、浜朴）　アオイ科
落葉低木　塩生植物
糸島市の花に指定


ハマボウ（黄槿、浜朴）
アオイ科
落葉低木　塩生植物
糸島市の花に指定

江　戸　の　棚　田

現在地の位置図

ここ石盛の字にあります5枚の棚田は、江戸期に造成されています。

蕨野に残っている江戸の棚田は、くねくねとした形状をしています。前にでている箇所は元が尾根の所で、尾根を削ったままの状態です。奥になっている箇所は元が谷の所で、石を積んでいます。

江戸の棚田は、尾根は削ったままの状態で仕上げていました。しかし、明治以降になると全てを石を積んで棚田を造成しています。

この5枚の棚田の現在の耕作者は、蕨野の五百羅漢（寛政元年・1789年）を建立した居石傳佐エ門氏の子孫の方です。居石傳佐エ門氏もここの棚田を耕作したことが想像できます。

2023/07/17 7:30

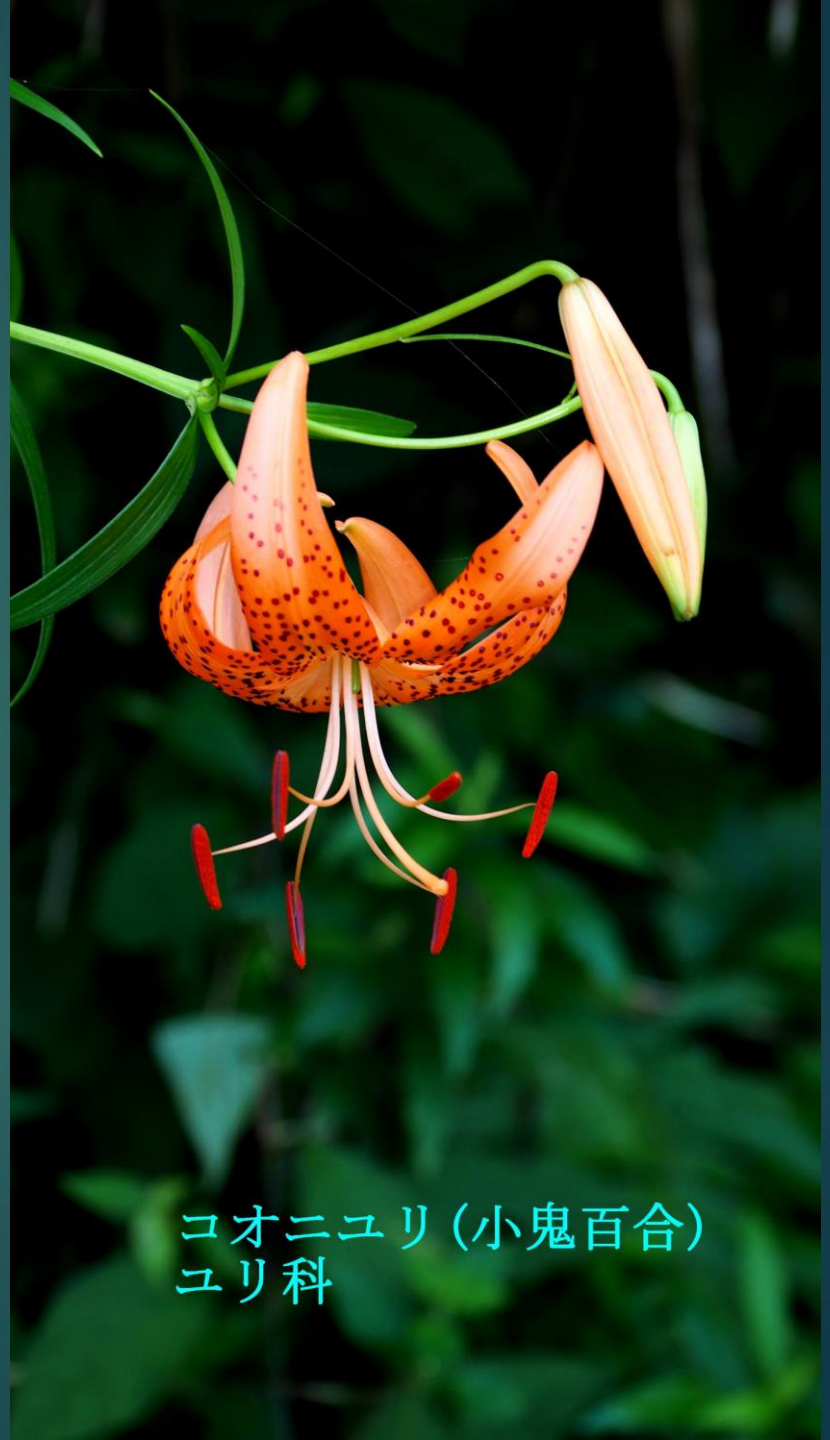
2023/07/17 7:30

2023/07/17 7:34

イヌホオズキ（犬酸漿）
ナス科　　有毒植物

ダイコンソウ（大根草）
バラ科

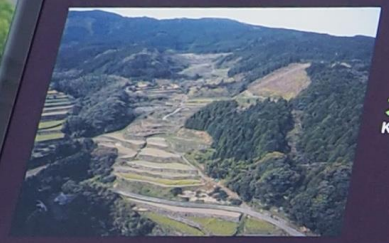
ウバユリ（姥百合）
ユリ科



コオニユリ（小鬼百合）
ユリ科

重要文化的景観 蕨野の棚田 大平展望所

Important Cultural Landscape　Warabino Rice Terraces　Ohira-Observatory



九郎谷の棚田
Kuroudani Rice Terraces

大平の棚田 石盛の棚田
Ohira and Ishimori Rice Terraces

下の木場の棚田
Shitanokoba Rice Terraces

南川原の棚田
Nangawara Rice Terraces

高さ8.5mの石積み棚田

複数の水田をまとめることで、耕作面積を増やそうと、昭和初期に約10年をかけて高石積の棚田が築かれました。

蕨野の棚田で最も広い水田です。

棚田の下に水を通す暗渠

棚田は、石積みのトンネルである暗渠の上に築かれています。

これにより、水温を一定に保つことや、耕作面積を増やすことができました。

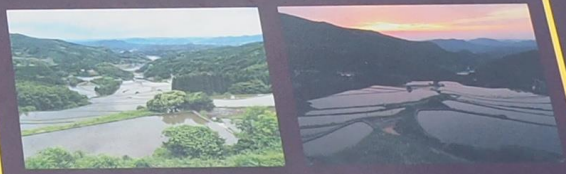
重機等がない時代に造られた、当時の人の知恵と技術力が伺えます。

蕨野の棚田は、八幡岳（標高約764m）と女山（標高約684m）の北側斜面の中腹に位置し、手のひらを広げた形で延びる5つの谷筋に沿って600枚程の棚田が営まれています。この棚田の特徴は、八幡岳の火山活動により形成された玄武岩を使用した平均3～5m、高いものでは8.5mにもおよぶ野面積みの石積みと、豊かに湧き出る水が石積暗渠を巡る利水システムです。城壁にも例えられる石積みの仰観は、周辺の山林と一体となり壮麗な景観を形成しています。

この石積みは、江戸時代後期（19世紀）から「手間講」と呼ばれる村人の共同作業によって築かれ、現在まで良好に受け継がれています。蕨野の棚田は、この地の自然・歴史・地域社会のあり方を今に伝える貴重な文化財です。

（1999年日本の棚田百選認定、2008年重要文化的景観選定）

大平展望所の見どころ



大平展望所からの風景

大平の棚田では現在約170枚の耕作が営まれています。この展望所では、田植え後の水を張った風景の中、早苗の風を受けながら心と体の癒しを体験することができます。

ふもとに見える集落が、この棚田を作り上げてきた蕨野集落です。

2023/07/17 7:51
蕨野の棚田(わらびののたなだ)

2023/07/17 8:01
蕨野の棚田(わらびののたなだ)
大平展望所

2023/07/17 8:02
蕨野の棚田(わらびののたなだ)
大平展望所

八幡岳展望所に向かう

2023/07/17 8:36
八幡岳展望所駐車スペース

エゴノネコアシ

八幡大菩
2023/07/17 8:42
八幡岳展望所

八幡岳展望所

2023/07/17 8:45
八幡岳展望所
県立自然公園
八 幡 岳
標高 七六四米

八幡岳展望所
2023/07/17 8:40
蕨野の棚田(わらびののたなだ)

山頂に向かう

2023/07/17 8:49
展望所駐車スペース

ヤマハッカ（山薄荷）
シソ科

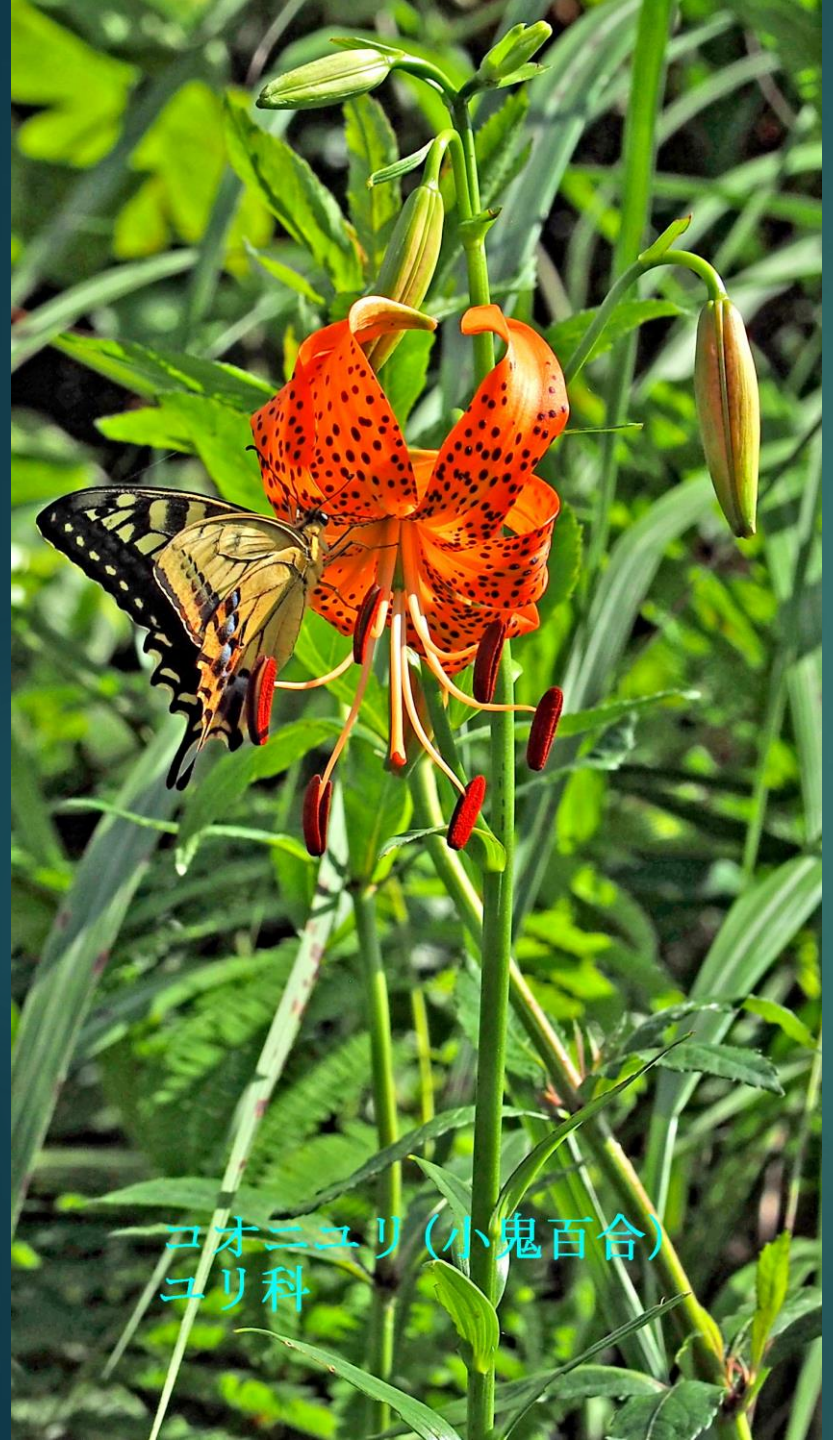
ウバユリ（姥百合）
ユリ科

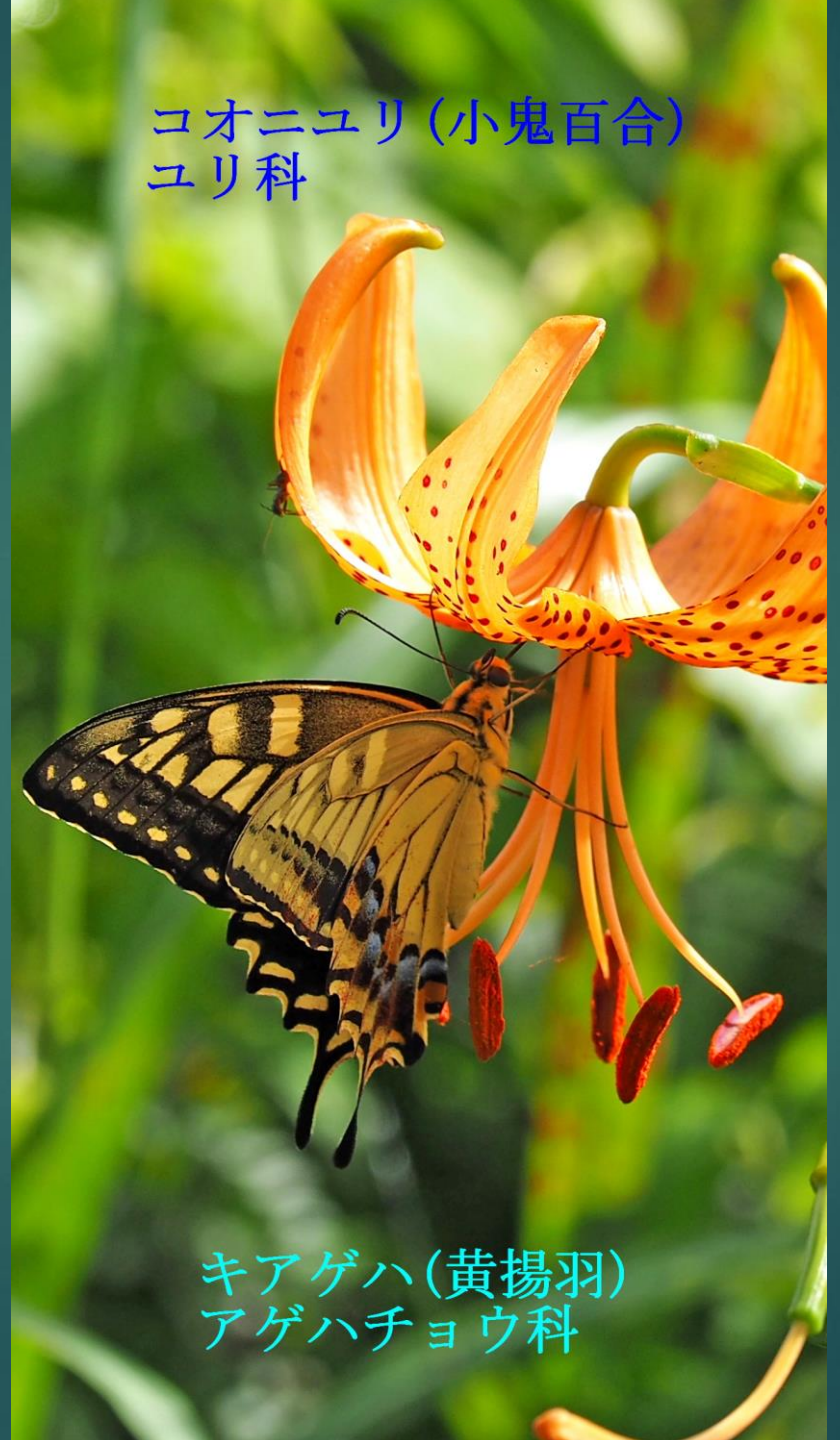
ウバユリ(姥百合)　ユリ科

ボタンヅル(牡丹蔓)　キンポウゲ科
ツル性半低木

キカラスウリ
(黄烏瓜)
ウリ科

ツユクサ(露草)
ツユクサ科


コオニユリ（小鬼百合）
ユリ科


コオニユリ（小鬼百合）
ユリ科
キアゲハ（黄揚羽）
アゲハチョウ科

ガマズミ（莢蒾）
スイカズラ科

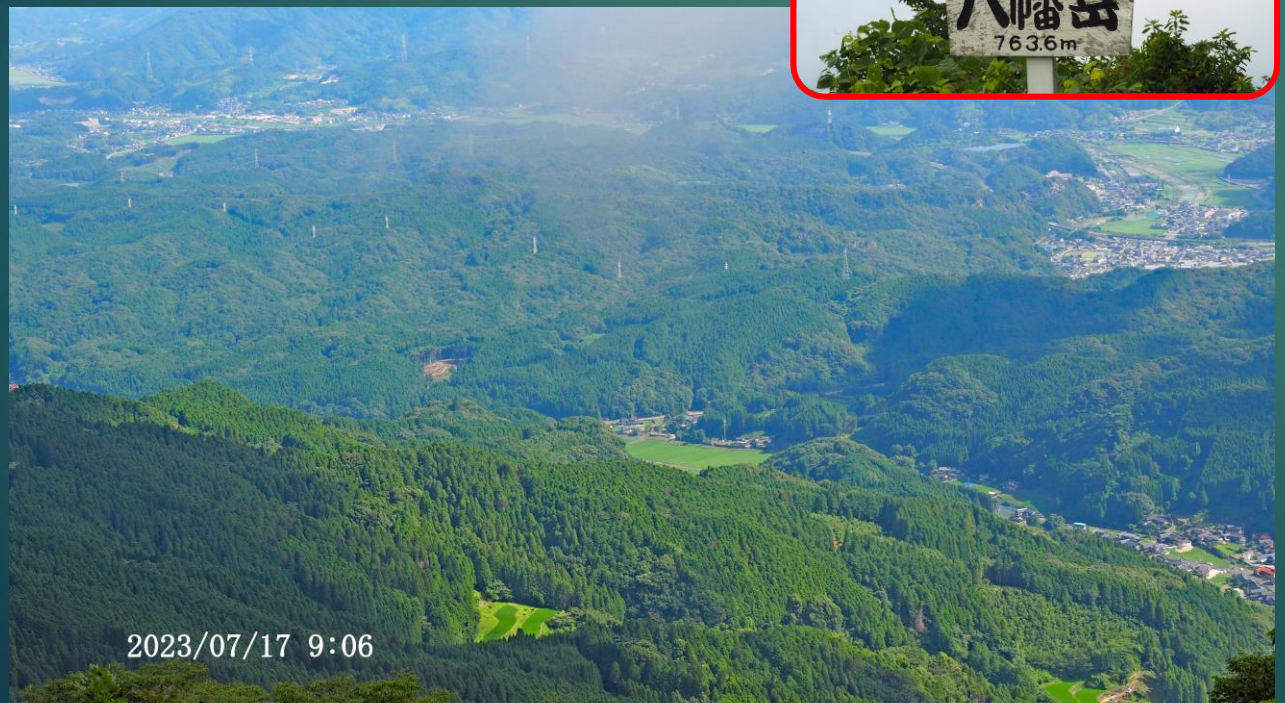
八幡岳の由来

この山は、古地図では「日鼓(ひつづみ)山」または、「日包山」と記入されている。平安時代の武将源義家（八幡太郎）の第八子、鎮西八郎為朝が九州に来て若木村に館を構え、武道修練のため山野を馳けめぐっていたと伝えられている。為朝は、源氏の武神である八幡宮を勧請し、この山頂に八幡大菩薩の石祠を祭ったことから、次第にこの山は八幡岳と呼ばれるようになったと言われている。

2023/07/17 9:07

2023/07/17 9:10
八幡岳(はちまんだけ)764m
八幡岳
763.6m

八幡岳
763.6m


2023/07/17 9:06

ヤマハッカ(山薄荷)
シソ科

ヤマフジ(山藤)　マメ科　つる性落葉本木
別名：ノフジ(野藤)

ここから下りて行く
2023/07/17 9:18
Kyushu Nature Trail
九州自然歩道
九州自然歩

オオキツネノカミソリ
(大狐の剃刀)
ヒガンバナ科

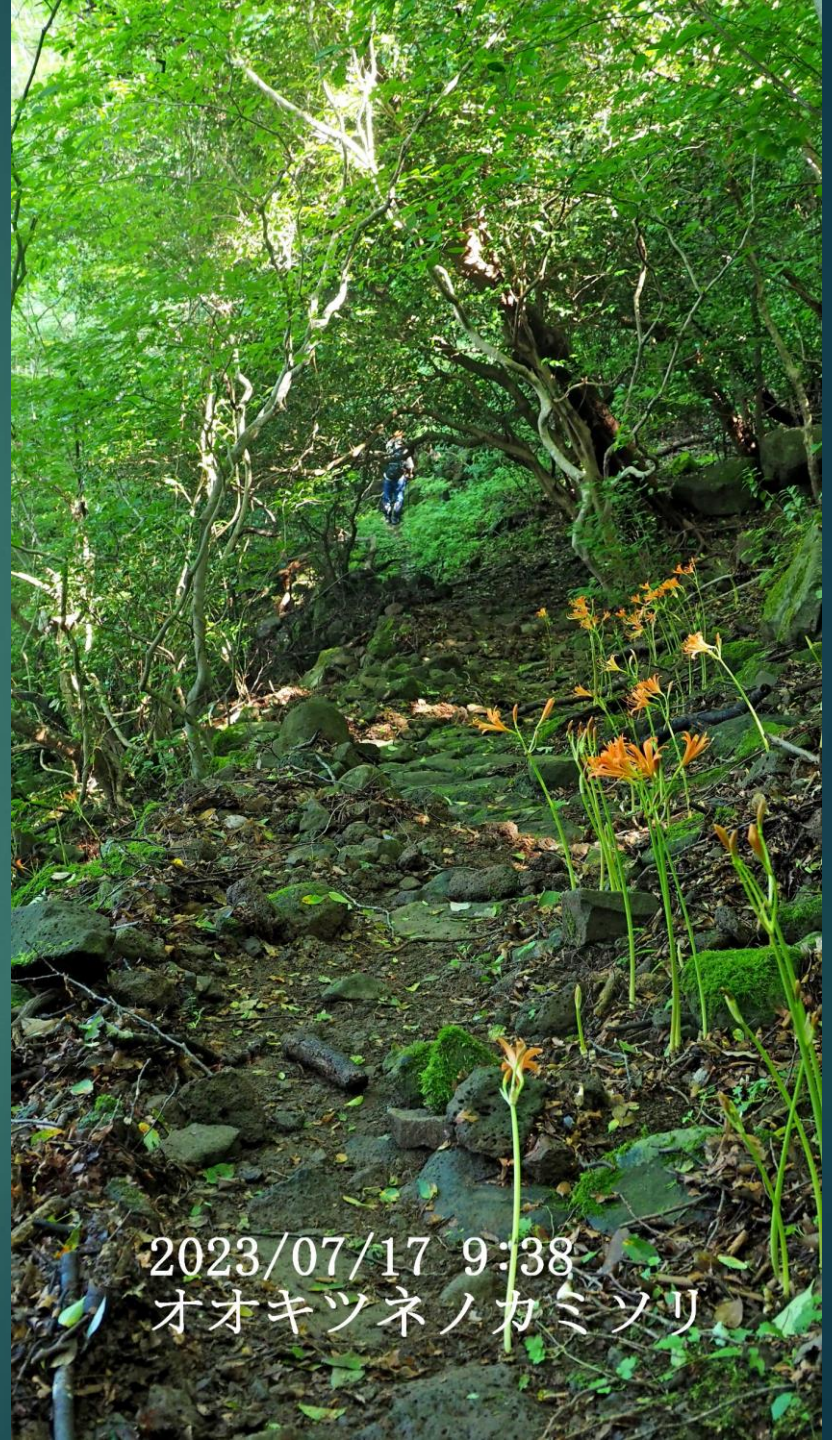
ハンカイソウ(樊噲草)
キク科　多年草

2023/07/17
9:26

オオキツネノカミソリ
(大狐の剃刀)
ヒガンバナ科

2023/07/17 9:26

オオキツネノカミソリ(大狐の剃刀)
ヒガンバナ科


2023/07/17 9:38
オオキツネノカミソリ

鎮西八郎為朝（ちんぜいはちろうためとも）

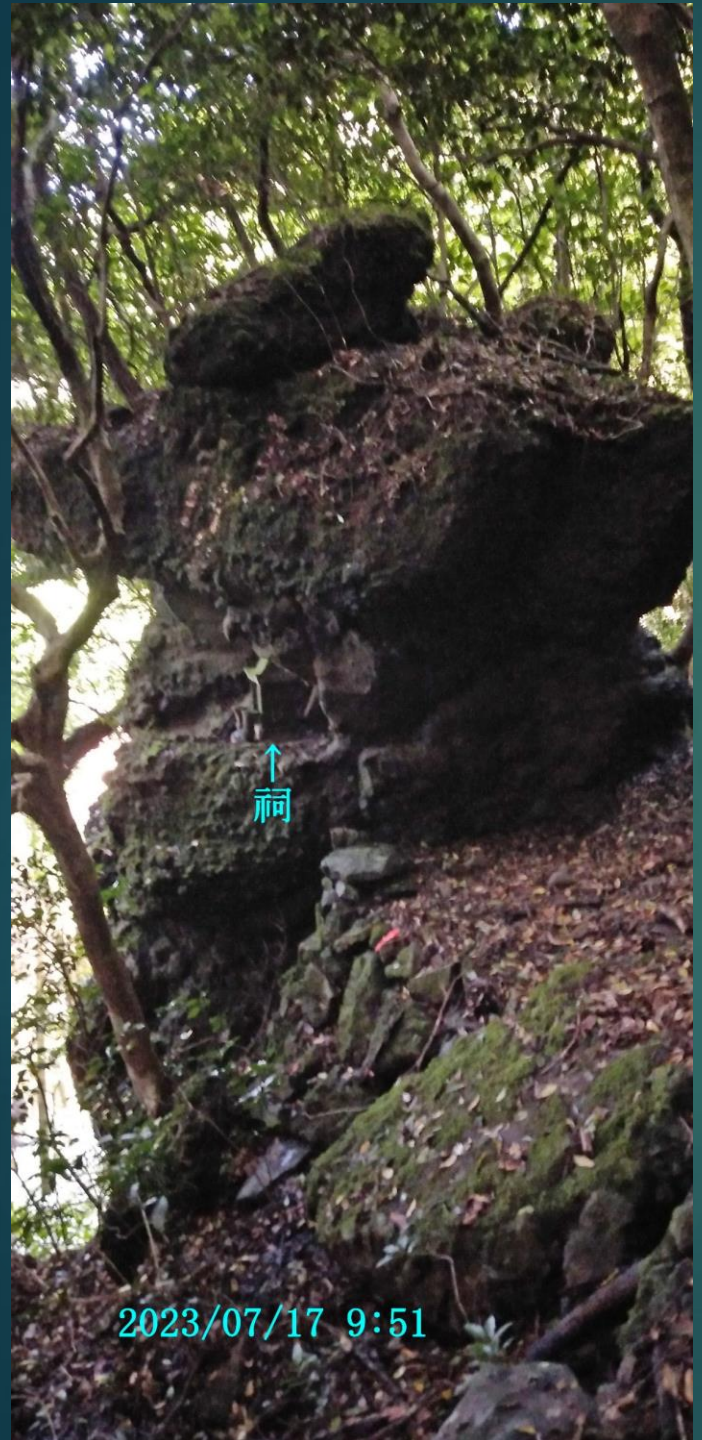
Chinzei-Hachiro-Tametomo

為朝は、平安時代の源氏の武将、源為義の第八子で、剛勇と弓の名手で名高く、今の武雄市若木町に館を構え、武道修練に山野を駆けめぐり、黒髪山の大蛇退治を始め日本各地に多くの伝説を残している。今も山麓には「御所」、「猪鹿（ちゅうろく）」、「駒鳴」、「大樽」などの地名も残っている。

八幡岳も為朝が八幡大菩薩を祀ったことから、この名が起こったと伝えられている。

環境省 Ministry of the Environment　佐賀県 SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT

2023/07/17 9:50


↑
祠
2023/07/17 9:51

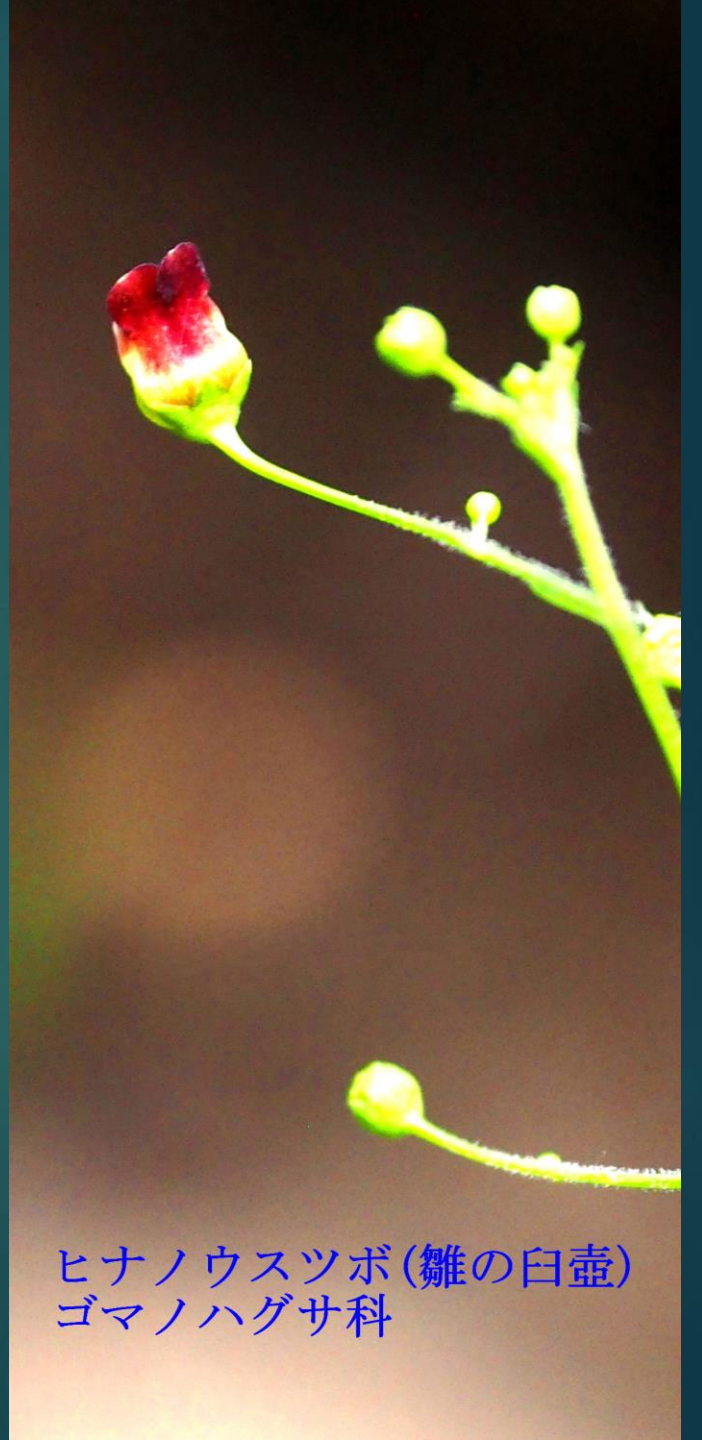
マルミノヤマゴボウ
（丸実の山牛蒡）
ヤマゴボウ科

マルミノヤマゴボウ
（丸実の山牛蒡）
ヤマゴボウ科

ヒナノウスツボ
(雛の臼壺)
ゴマノハグサ科

ヒナノウスツボ(雛の臼壺)
ゴマノハグサ科

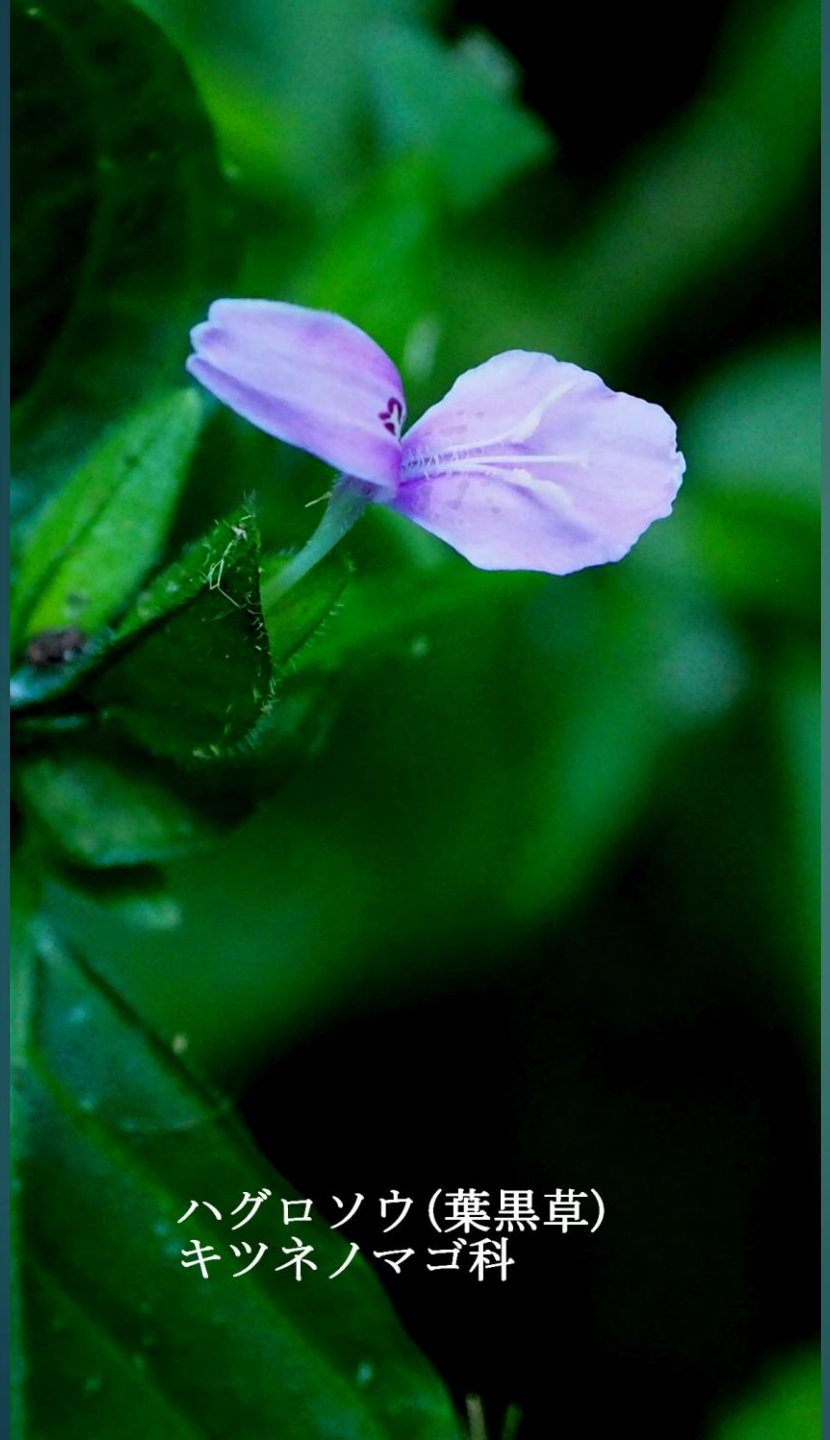
ヒナノウスツボ(雛の臼壺)　ゴマノハグサ科


ヒナノウスツボ(雛の臼壺)
ゴマノハグサ科

2023/07/17 10:12

虫こぶ型
マタタビ(木天蓼)
マタタビ科　落葉蔓性木本　別名：夏梅

ヤブミョウガ(藪茗荷)
ツユクサ科


ハグロソウ(葉黒草)
キツネノマゴ科

ハグロソウ(葉黒草)
キツネノマゴ科

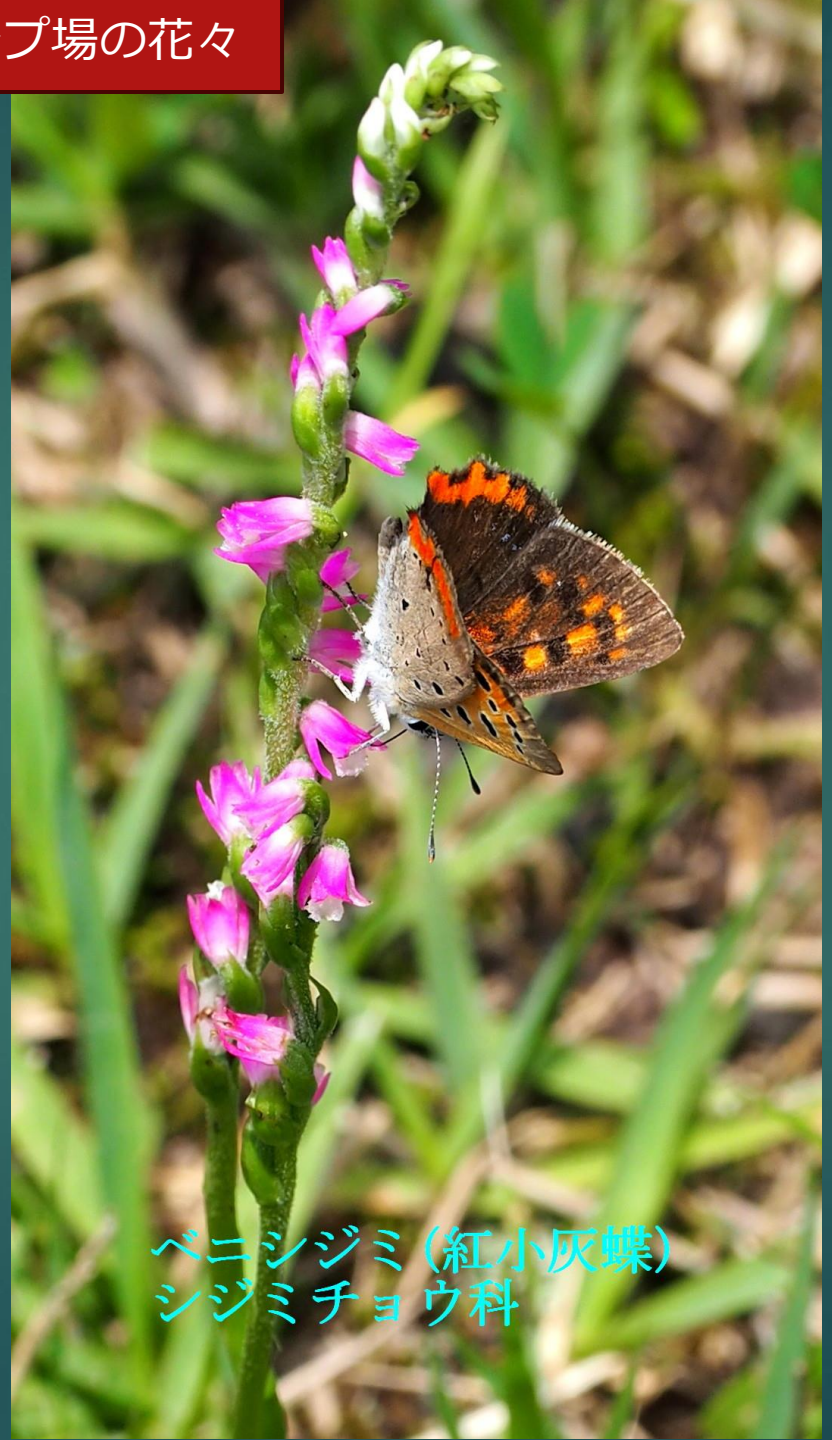
2023/07/17 10:49
八幡岳峠登山口
林道川内線起点

2023/07/17 10:52
八幡岳峠に到着
2時間12分の行動時間

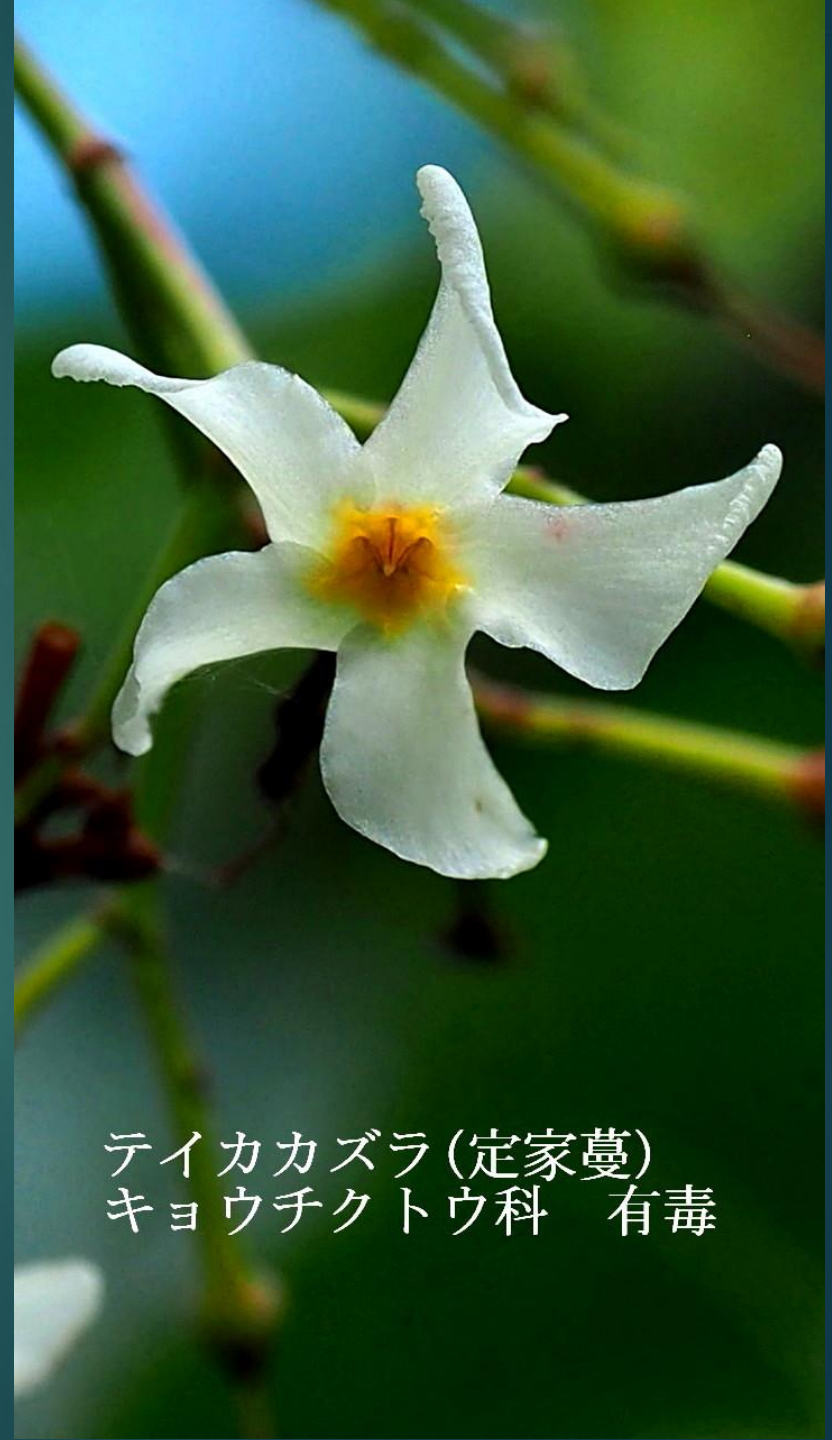
2023/07/17 11:35
八幡岳キャンプ場駐車場

キャンプ場の花々

ネジバナ（捩花）　ラン科
別名：モジバナ（捩花）



ベニシジミ（紅小灰蝶）
シジミチョウ科



テイカカズラ（定家蔓）
キョウチクトウ科　有毒

2023/07/17 11:57
八幡岳(はちまんだけ)764m

帰途に見たオニユリ

オニユリ（鬼百合）　ユリ科

END